

企業概要

- 主な事業は、プレス金型、エンジニアリングプラスチック金型の設計・製作、情報機器、弱电部品及び自動車用電子部品の精密プレス部品の生産、同エンジニアリングプラスチック部品の生産、組立。
- 金属とプラスチックに精通し、求められる精度、形状を実現するモノづくりの技術を有し、自社商品として生分解性プラスチックゴルフティーを開発。

企業情報

| | |
|-------|-------------------|
| 企業名 | 信州吉野電機株式会社 |
| 代表者 | 吉野智胤氏 |
| 設立年 | 1979年 |
| 資本金 | 5,000万円 |
| 従業員 | 87人（男性71名、女性16名） |
| 本社所在地 | 長野県塩尻市広丘高出1971 |
| 事業概要 | プラスチック、精密プレス開発・生産 |
| 電話番号 | 0263-54-1003 |



代表取締役社長 吉野 氏
(信州吉野電機株式会社HPより)

SDGs達成を通じた取組

【経緯・背景等】

今までOEMが事業の主流だったが新しい自社事業へ領域を広げることを計画、SDGsを切り口にした補助金を活用することで社内の前向きな理解に繋げ、自社の事業領域拡大につながる新たな技術獲得に向けて、一歩踏み出す契機とした。

【具体的な取組、製品・サービス】

- 県補助金を活用して生分解性プラスチックを使ったゴルフティーを開発、一般発売予定（2020年4月予定）。
- 「教育訓練基準」を制定し、積極的な人財育成を通じてモチベーションアップを図る。障害者の方を積極的な雇用。
- 品質マネジメントシステム（IATF16949）、環境マネジメントシステム（ISO14001）を経営に融合、それらをベースに不良品削減活動、廃棄物のリサイクル化、省エネの推進を実施。
- 自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組む。2000年にISO14001認証取得済（環境設備・エネルギー管理基準）。（長野県事業活動温暖化対策計画書制度に提出済み）

【取り組んだ成果・効果】

- ゴルフティー製作を通じた新たな取り組みを通じて生分解性プラスチックを使った製品開発ノウハウを蓄積。今後新たな製品へ展開する足掛かりを構築。
- 技能検定合格者のべ75名（2019.12.13現在）
- 不良品削減活動、廃棄物のリサイクル化、省エネの推進により、年間約2,000万円前後の削減を実現。
- 長野県SDGs推進企業登録制度へ登録。

【貴社にとってのSDGsと、その展望】

- ものづくりを通じて存在価値ある企業であり続けるために、従来取り組んでいる社員育成、人財雇用、技術開発、品質改善、省資源化活動が、SDGsの目指すゴールと合致しており、当社はSDGsのために何か新しいことを始めるのではなく、今行っている企業活動を更に向上させるためにSDGsを活用し、貢献していきます。



サクラとクローバー
(同社資料より)

「生分解性プラスチックを使ったゴルフティー：かんざしいー イメージ」
(同社資料より)